



横浜銀行 ロンドン駐在員事務所

週間トピックス(2017.6.27)

＜今週のトピックス＞

英国からのインバウンドプロモーション

日本のインバウンドというと中国やアジアを対象にしていることが多いですが、2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピックという2大スポーツイベントを機に、英国からの観光客を呼び込もうとするインバウンドへの取り組みも見られるようになりました。

(1) ラグビーW杯に絡んだインバウンドイベント

- 5月10日に日本でラグビーW杯1次リーグの組み合わせ抽選会が行われることに合わせ、同日、英国にある日本大使館で、ラグビーW杯と絡めたインバウンドのプロモーションイベントが日本大使館とJNTO(日本政府観光局)の共催で開催されました。
- イベントにはラグビーW杯の開催地の自治体である東京、横浜、静岡、神戸、大分と和歌山、沖縄が合わせて参加し、英国の旅行会社やラグビー関係や旅行関係の雑誌社等とのネットワーキングが図られていました。夕方からのレセプションでは、各自治体が、地酒や名産品を参加者に振る舞い、アピールする等盛況に終わりました。

(2) 横浜市のインバウンド活動

- 今回のイベントに参加していた横浜市の方の話では、これまで横浜市のインバウンド活動はアジアや米国を中心に行われていました。しかし、横浜がラグビーW杯の決勝戦の地に決定し、また慶応大学と川崎市とともに、横浜市が東京オリンピック・パラリンピックの英国チームのキャンプ地となったことから、英国からのインバウンドにも注力してきています。
- 下記の表は横浜市に宿泊した人数(国別)を表していますが、これまで特段プロモーションはなかったにもかかわらず、英国は6番目に位置し、年々増加しています。

国	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	構成比	前年比
中国	66,753	44,420	77,223	75,251	99,801	231,953	188,286	26.2%	81.2%
米国	82,934	68,703	89,050	91,577	96,621	98,971	116,778	16.2%	118.0%
台湾	29,679	22,501	40,786	47,670	54,382	75,099	71,775	10.0%	95.6%
韓国	33,098	22,292	26,022	28,742	29,159	36,698	38,514	5.3%	104.9%
タイ	3,495	4,186	13,093	13,608	11,849	30,559	29,444	4.1%	96.4%
英国	12,098	17,218	23,300	25,654	26,390	24,857	28,006	3.9%	112.7%
香港	11,078	9,081	7,688	17,572	14,219	21,373	21,477	3.0%	100.5%
ドイツ	12,985	11,065	13,892	15,987	15,537	17,402	21,220	2.9%	121.9%
その他	87,923	91,744	112,441	126,366	153,434	182,481	204,389	28.4%	112.0%
合計	340,043	291,210	403,495	442,427	501,392	719,393	719,889	100.0%	100.1%

(出所:横浜市)

- インバウンドをプロモーションする中で、横浜市の課題となっているのが、ホテルです。立地上、東京から近いことから、東京での宿泊者が多いことと、横浜自体にホテルが少ないことが課題となっています。
- 現在の横浜のホテルは稼働率が9割近くとなっています。この状態の改善に期待されるように、下記の表のとおり2020年までホテルの開業が続きます。

年	ホテル	場所	客室数
2017	横浜ホテル開発	中区山下町	154
2017	アップル住宅販売	中区蓬萊町	91
2017	ホテルビスタプレミオ横浜(みなとみらい)	みなとみらい59街区	232
2017	安田倉庫	神奈川区鶴屋町	-
2017	一建設	中区常磐町	122
2018	ホテルユニゾ横浜駅西口	西区南幸	156
2018	新日本建物	西区北幸	124
2019	ハイアット リージェンシー横浜	中区山下町	315
2020	アパホテル&リゾート横浜ベイタワー	中区北仲通り	2,311
2020	オークウッド	中区北仲通り	1,175
2020	横浜ベイコートクラブ	みなとみらい20街区	150

(出所：横浜市、各公表資料より)

- これにより、横浜市の現在のホテルの客室数14,564が2020年には18,394(+3,830)と+26%増加する見込みです。

インバウンドは地方創生の観点からも非常に重要なテーマではありますが、どのようなプロモーションが有効なのかは、どの自治体もまだまだ手探りのような状況というのが実情です。今回のような世界的なスポーツイベントでまずは日本や各地域を知ってもらうということから始まり、その後の継続的なインバウンドへといかにつなげていけるかが注目されます。

	6/20	6/21	6/22	6/23	6/26
FTSE 100(英)	7472.71	7447.79	7439.29	7424.13	7446.80
CAC 40(仏)	5293.65	5274.26	5281.93	5266.12	5295.75
XETRADAX(独)	12814.79	12774.26	12794.00	12733.41	12770.83
OMX20(デンマーク)	1016.74	1014.83	1014.03	1014.16	1014.47
BUX(ハンガリー)	2435.87	2516.79	2501.89	2484.92	2517.13
RTS(ロシア)	981.03	973.33	978.48	988.93	992.84

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
 ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
 本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
 本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。